

第2回 「未来医療情報発信事業」実施に係る企画・調整及び運営委託業務に係る
公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会の選定結果について
議事要旨

令和7年6月23日（月曜日）

1. 日時及び場所

令和7年6月17日（火曜日） 午後1時から午後4時
Nakanoshima Qross2階 Qrossover Lounge 夢 スタジオスペース

2. 審査方法

あらかじめ定めた審査基準（公募要領に記載）に基づき、4名の選定委員が書類審査及びプレゼンテーション審査により100点満点で総合評価を実施。最終的に各選定委員の評価を集計し、評価点数の平均が60点以上の提案者のうち最高得点の者を最優秀提案事業者として選定。

3. 審査対象者（提案者）

- (1) 未来医療情報発信事業共同企業体（株式会社読売新聞大阪本社、共同ピーアール株式会社）
- (2) 未来医療情報発信事業共同企業体（株式会社日本経済新聞社、株式会社日本経済社）
- (3) 未来医療情報発信推進共同企業体（株式会社博報堂 関西支社、株式会社博報堂プロダクツ 関西支社、株式会社アンティル）
- (4) 朝日放送グループ共同企業体（朝日放送テレビ株式会社、株式会社マッシュ）

4. 議事要旨

- ・ 選定委員会は非公開とすることに決定
- ・ 審査方法及び審査基準の確認
（総合評価点の平均が60点に満たない場合は選定しない旨を確認）
- ・ 企画提案部分について、提案者が10分間のプレゼンテーションを実施
- ・ その後、選定委員から10分間の質疑応答を実施
- ・ 審査の結果、「未来医療情報発信事業共同企業体（株式会社日本経済新聞社、株式会社日本経済社）」を最優秀提案事業者に決定

【主な委員意見（最優秀提案者）】

- 最優秀提案者は、強力な国際ネットワークを有し、国内外へのアピールが期待できる。また、ビジネスパーソンや投資家等への訴求力も強く、既にネットワークを構築していることが強みである。
- 事業実施に当たっては、効果的・効率的な広報に重きを置いた上で、府民や患者家族に対しても訴求力の高いイベントとなるよう工夫すること。
- また、大阪の強みを充分理解したうえで、関係団体と密に連携し、アジアをはじめ、欧米地域にもアプローチを行うなど、海外の投資家が実際にイベントに参加するよう工夫して取り組んでいただきたい。

5. 選定委員会委員の氏名及び選定理由（五十音順）

所属・職名等	氏名	選任理由
スタンフォード大学 主任研究員	池野 文昭	アメリカにおける医療機器ベンチャーの研究開発や動物実験・臨床試験に関する実務経験が豊富であり、「海外に向けた府内スタートアップ・中小企業の技術力の強力発信」の観点から、提案内容の専門性・実現性について審査していただくため。
奥田善朗公認会計士事務所 公認会計士	奥田 善朗	企業会計や経営の専門家としての知見を活かして、提案者の経営状況・財務状況を審議していただくため。
一般財団法人 未来医療推進機構 理事長	澤 芳樹	再生医療分野の第一人者であることに加え、未来医療の産業化を推進する（一財）未来医療推進機構の理事長としての知見を活かして、未来医療を含めたライフサイエンス分野の観点から、提案内容の具体性を審査していただくため。
大阪商工会議所 国際部長	根来 宜克	大阪商工会議所国際部長として海外企業誘致に携わっており、産業振興施策に関する専門的な視点から、企画案について審査していただくため。